

## 任期付職員の業績等一覧

	所属	職名 (人数)	職種	任期	種別	職務内容及び期待業績	期待業績達成状況 (事務事業の改善・効果等) 【採用～H23.3.31までの実績】	所管課 (電話番号)
1	市民スポーツ文化局 スポーツ文化部 大宮盆栽美術館	主任(1) 主事(2)	学芸員	H21.12.1 ～ H24.11.30 (3年)	一般	【職務内容】 盆栽文化に関する資料の収集、保管及び展示する。  【期待業績】 調査・研究並びにその成果を公開することにより、盆栽文化を国内外に普及する。	盆栽文化を発信する美術館としてふさわしい展示や資料収集などが行われ、当初計画よりも企画展の数を増やし、内容を充実させるなど期待以上の業績が達成された。 また、調査・研究の成果は、企画展、特別展をはじめ講演会やギャラリートークなどに反映され、盆栽文化を国内外に普及することができた。	大宮盆栽美術館 780-2092
2	市民スポーツ文化局 スポーツ文化部 大宮盆栽美術館	技師(3)	技師 (盆栽)	H21.12.1 ～ H24.11.30 (3年)	一般	【職務内容】 盆栽に関する専門的知識及び技能を有し、盆栽を常時適切に生育管理する。  【期待業績】 ワークショップ等を通して盆栽文化を国内外に普及する。	盆栽に関する専門的知識及び技能により、盆栽を常時適切に生育管理し、盆栽の育成状況に合わせた管理を行った。 また、来館者に対する盆栽の基礎知識や育て方の解説、ワークショップ等を通じて盆栽文化を国内外に普及することができた。	大宮盆栽美術館 780-2092
3	行財政改革推進本部	副理事 (無駄ゼロ改革チーム担当)(1)	一般事務	H22.1.1 ～ H24.12.31 (3年)	特定	【職務内容】 歳入・歳出を含めた全ての事務事業の見直し 新たな行財政評価システムの構築 職員の意識改革  【期待業績】 既存事業について聖域なく見直しを進め徹底的に無駄を排除するとともに、継続的に無駄が発生しにくい仕組みを構築する。 行政評価の更なる透明性と客観性を高めた新たな評価システムを構築する。 職員に民間の経営感覚、コスト感覚、経営手法等の意識を醸成させる。	歳入・歳出を含めた全ての事務事業の見直し ・事務事業総点検を実施し、客観的な見直し基準に基づき、見直しの方向性の明確化を図った。 ・民間視点からの徹底した無駄の排除を行い、平成23年度予算に反映した。 新たな行財政評価システムの構築 事務事業総点検の結果を「改革のカルテ」として取りまとめ、継続的な改革を進めるために、「見直しの常態化」サイクルを構築した。 職員の意識改革 ・公開審議では、行政の透明化を推進するとともに、所管局と議論しながらコスト意識など民間で培った経営感覚を活かして職員の意識改革を行った。 <公開審議担当事業> 図書館や博物館の運営の見直しなど6事業 ・職員の改革意識を醸成するため、職員研修や庁内ネット掲示板「KidBox」などを通じて積極的に改善提案に取り組みとともに、コスト表記制度の構築を行った。 ・官民協働による行政運営を推進するため、ボランティア活動と連携した公共サービスの検討など、局横断的な仕組みの検討を行った。 (ボランティア支援制度や官民協働による本庁舎・区役所駐車場の管理運営方法の検討) ・職員一提案制度の推進に向けた現場訪問(各区役所、保育園、公民館、水道局など)	行財政改革推進本部 829-1108

## 任期付職員の業績等一覧

所属	職名 (人数)	職種	任期	種別	職務内容及び期待業績	期待業績達成状況 (事務事業の改善・効果等) 【採用～H23.3.31までの実績】	所管課 (電話番号)	
4	行財政改革推進本部	副理事 (行政改革 チーム担当) 兼 政策局都 市経営戦略室 副理事(1)	一般事務	H22.2.1 ～ H25.1.31 (3年)	特定	<p>【職務内容】 新たな行財政改革推進プランの策定 公共施設マネジメント計画の策定 市民目線での開かれた行政の推進と職員の意識改革 「しあわせ倍増プラン2009」のマネジメントサイクルの確立</p> <p>【期待業績】 平成22年中を目標に行財政改革推進プランを策定、マネジメントを行う。 平成23年度末を目標に、公共施設等の効率的な管理運営を推進するための方針として公共施設マネジメント計画を策定し、進行管理を行う。 改革の取組・成果などについて市民に伝わりやすい仕組みを構築するとともに、自律的・持続的に職員が主体となって取組む意識改革の実現を図る。 「しあわせ倍増プラン2009」の実績評価、検証及び市民評価等のマネジメントサイクルを検討、確立する。</p>	<p>新たな行財政改革推進プランの策定 ・本市の現状、課題分析を踏まえ、有識者会議等の意見を伺い、「見える改革」「生む改革」「人の改革」を3つの柱とした「さいたま市行財政改革推進プラン2010」を平成22年12月に策定・公表した。 ・改革プログラム事業の検討にあたり国の動向、先行事例等の調査により具体の事業を提案した。 公共施設マネジメント計画の策定 ・全市的・総合的な視点から公共施設の効果的・効率的な管理運営を推進するため、公共施設マネジメント計画の策定(平成23年度策定予定)に取組み、平成22年10月に「公共施設マネジメント方針」を策定した。 ・総務省の調査研究会にオブザーバーとして参加し、共同研究を行った。 市民目線での開かれた行政の推進と職員の意識改革 ・市民参加による改革を推進するため、行財政改革公開審議の仕組みを構築し、実施・運営した。 &lt;公開審議担当事業&gt; 小中学校施設の有効活用、保養施設の見直し、イベントの再構築など7事業 ・職員意識調査を毎年度実施することとし、行財政改革推進プラン2010の目標とした。 「しあわせ倍増プラン2009」のマネジメントサイクルの確立 当該プランの推進に向けて、市民参加型のマネジメントのサイクルを確立するため、内部評価・外部評価の仕組みを構築するとともに、市民評価委員会を立ち上げ、運営を行った。</p>	行財政改革推進本部 829-1108
5	市長公室	副理事(1)	一般事務	H22.3.1 ～ H25.2.28 (3年)	一般	<p>【職務内容】 広報・報道対応・広聴の事務事業の改善</p> <p>【期待業績】 (1)さいたま市の広報(情報提供)マスタープランの策定及びその実践指導 (2)さいたま市のイメージアップにつながる情報の発信に関する技術的な指導・助言 (3)さいたま市のパブリシティの向上に関する技術的な指導・助言</p>	<p>(1)「広報(情報提供)マスタープラン」の策定については、計画対象を広報・報道対応・情報公開・広聴に拡大し「PRマスタープラン」として策定した。これにより、市の対外的なコミュニケーション活動全般において、既存の事務事業に関しては、改めて再検討を行い改善の方向性を示し、不足しているコミュニケーション機能に関しては、新たな事務事業を補充することとした。さらに、既存事業の見直しにもなっており、継続的に各事務事業の改善指導を行っている。 (2)「市のイメージアップ」と(3)「市のパブリシティ向上」に関しても、それらが当該プランに含まれるため、プラン策定中から技術的な指導・助言を行っている。 (2)に関しては、市報・公式ホームページ・テレビ広報番組・ラジオ広報メッセージ・PRビデオ等の改善を進め、また本市初のグラフ誌版広報誌も刊行が始まった。 (3)に関しては、広報推進責任者会議などの会議や研修の機会を通して、職員に対しPRのノウハウを伝え、PR意識の啓発・高揚を図った。なお、平成22年度市の年間パブリシティは1,500件を超え、「しあわせ倍増プラン」に掲げられた目標を達成した。</p>	広報監付 829-1017

## 任期付職員の業績等一覧

	所属	職名 (人数)	職種	任期	種別	職務内容及び期待業績	期待業績達成状況 (事務事業の改善・効果等) 【採用～H23.3.31までの実績】	所管課 (電話番号)
6	経済局 経済部 産業展開推進課	副参事(1)	一般事務	H22.4.1 ～ H25.3.31 (3年)	一般	<p>【職務内容】 国際的展示会の出展を通じた企業のPR活動の企画立案。 研究開発型ものづくり企業の幅広い知見を背景に、独創性・革新性に優れた技術を持つ市内研究開発型企業を「さいたま市テクニカルブランド企業」として認証し、各種広報活動を実施するとともに技術開発・経営強化・人材育成支援等の支援を実施。</p> <p>【期待業績】 企業の技術開発面における産学連携の実現。 産業全体の更なる活性化、イメージアップ。</p>	<p>これまで民間で習得した知識・実務・経験をもとに展示会における適切なアドバイス及びノウハウを提供した。(国際展示会「インターネットコンジャパン」、コラボさいたま、E-KIZUNAサミット・フォーラム)また、テクニカルブランド企業を中心とした産学・産産連携を推進した。(モビリティと経済活性化研究会、ワールドカフェ等) 行政側からはアプローチするのが困難であった分野にまで、きめ細かい指摘や迅速な行動力等によって多種多様にわたる市の経済政策について効率良く展開することができた。特にインターネットコンジャパンやコラボさいたま等の展示会への出展の際、市内企業のPR活動を実施するにあたり、展示物の掲載方法や来場者への広報活動などについて、過去の経験から主催者側としての目線からも判断し、実行したことにより、さいたま市の活動について広く周知させることができた。</p>	産業展開推進課 829-1371
7	経済局 観光政策部 観光政策課	副参事(1)	一般事務	H22.4.1 ～ H25.3.31 (3年)	一般	<p>【職務内容】 民間のノウハウを活用し、次の業務に取り組む。 ・旅行会社、交通事業者、ホテル等を対象とした観光プロモーション事業 ・観光商品の造成 ・その他観光客誘致に関する事業</p> <p>【期待業績】 ・国外、市外からの観光客の誘致</p>	<p>日本観光協会主催の台湾の旅行者を対象とする商談会、イタリア・シンガポール政府観光局、日本政府観光局(JNTO)主催のインバウンド旅行振興フォーラム等における観光プロモーションを実施、JNTO外国人向けWebサイトに大宮盆栽美術館や鉄道博物館のPRを掲載して多数のアクセス数を獲得するなど、外国人観光客誘致に取り組んだ。 また、7月から12月にかけて都内主要駅等で行った観光PRキャラバンの主担当者として、キャラバン隊の指揮・監督を行った。配布したPRチラシにより、大宮盆栽美術館入館者数約500人、さいたま観光コンベンションビューローHPアクセス数約5000件という成果を得た。 その他、これまでのキャリアを活かしながら、県外からの修学旅行・遠足や、はとバスなどの観光コースの誘致に取り組んだ。その結果、セブン&amp;アイホールディングスグループの「セブン旅倶楽部」との連携によるツアーを企画し、はとバスについても本年夏休み期間中の商品の実現に向けて交渉中である。</p>	観光政策課 829-1365